

看護工学 課題（ニーズ）発表会 開催報告

うめきた2期におけるイノベーション拠点形成の実現に向け、関西地域における産学官等のネットワークを構築・発展させるための一方策として、技術シーズやニーズのマッチングを行い、研究開発・実証からビジネス化に至るプロジェクトの創出を促進することが重要と考えられる。

今回は、近年注目されつつある看護工学分野を取り上げ、一つの試みとしてニーズ・マッチングに取り組んだ。

日時	2018年3月9日（金）14:00～17:00
場所	大阪イノベーションハブ プレゼンテーションルーム
対象	看護工学分野の製品開発を目指す企業、産業支援コーディネータ
共催	うめきた2期みどりイノベーションの融合拠点形成推進協議会 次世代医療システム産業化フォーラム
後援	看護理工学会
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・看護工学の概要と事例紹介 ・提案方法・今後の進め方説明 ・看護工学課題(ニーズ)発表（発表10分、質疑5分） ・個別相談会（一人当たり10分/原則、事前予約制）
発表課題（ニーズ）	1-1 嚥下機能評価 1-2 訪問看護における移動の快適化 (1) 雨天への対応 (2) 紫外線(UV)への対応 1-3 妊婦が使用する弾性ソックスもしくは補助具 1-4 胎児心拍陣痛図(CTG)のデバイス部簡素化 1-5 妊娠からはじめる姿勢の可視化(腰痛対策)
参加者	70名（下記内訳のうち企業は企業数のため、合計は合わない） <ul style="list-style-type: none"> ・企業：42社（企業数）* 製造:31社、情報・システム:3社、サービス等:8社 ・大学：10名 ・公的団体：3名 ・公的研究機関：2名 ・その他：3名（病院、行政機関等）
個別相談参加者	19社・機関 1-1：6社・機関 1-2：2社・機関 1-3：4社・機関 1-4：1社・機関 1-5：6社・機関



ニーズ発表の風景



個別相談の風景

その後、6件の課題(ニーズ)に対して、9件の提案があり、第1次選考、第2次選考を経て2件が採択された。その2件については、提案企業の製品化に向けた取り組みが進みつつあるところである。(2019年5月現在)